

未知祭  
～学び合いを共に～



主催  
特定非営利活動法人 未知

〒990-2433 山形市鳥居ヶ丘15番3号 ☎023-633-9387

## 未知祭 開催にあたり

特定非営利活動法人 未知

理事長 名和良吉

福祉専門職にある私たちにとって、ノーマライゼーション・レジリエンス・ストレングス・エンパワーメント・リカバリーといった用語の理解は極めて大切な意味を持つ。ノーマライゼーションという用語が世界に広まった基点は、デンマークで制定された「1959年法」にある。本法制定の経緯は1950年代のデンマークにおいて、日常的に繰り返されていた知的障害者施設での人権侵害や、国の障害者福祉制度のあり方に疑問を持つ親の会の活動に共鳴を受けた社会省担当官バンクミケルセンの草案によるものとされている。その主意を「知的障害にあっても、その人は一人の人間としての人格を持つ者であり、よってノーマルな人々と同じ生活を行なう権利を有する。しかるに施設及び制度は知的障害者の人々をノーマルな人に矯正することを目的とすることではなく、それらの人々をその障害とともに受容し、障害にあっても普通の市民と同様の生活ができるような環境づくりを社会の側が行なうべきである。知的障害者個人の能力やニーズにあわせた援助や教育そして訓練も含め、他の市民に与えられているものと同じ生活条件を提供すべきである。」とし、国や社会が目指すべき共生社会の在り方を示し地域生活支援の充実を訴えている。

厚生労働省は2018年8月に中央省庁の8割において3,460人からの障害者雇用を国のガイドライン（2018年度の障害者法定雇用率は民間2.2% 国・地方公共団体2.5% 教育委員会2.4%）に反し、不正に障害を有しない職員を障害者として算入していたことを公表している。ちなみに山形県における障害者雇用の実態は山形県障害者雇用に係る検証委員会・報告書（2019年1月24日付）によれば、2018年6月1日時の障害者雇用は2.57%で122人を採用しているとしていたが1.28%の割合でしかなく障害者雇用実数は54人であったと訂正している。障害者の雇用法定率は「障害者の雇用の促進等に関する法律」によって定められ、「その目的は障害者の雇用義務等にもとづく雇用の促進等の措置、職業リハビリテーションの措置等を通じて障害者の職業の安定にある。」と明文化している。先の「1959年法」の崇高な理念に比し、障害を有する人々の社会参加、社会復帰の促進、その展望等は微塵も感じ取れない文言である。いずれにしても病の治療という医学モデルから一歩踏み出し、社会で暮らすことを目指す生活モデルへの転換過程でのリハビリテーション目標は、一般社会や可能な限りそれに近い日常を取り戻すことにある。働く・職務を担うという行為の職業的リハビリテーションは、病や障害で失った自尊心・生活・人生をリカバリーする意義深さをもち、レジリエンス・ストレングス・エンパワーメントへと繋がる・・・。

障害者福祉の理念を実現する社会のあり方を示した「ノーマライゼーションの理念」誕生からすでに60年、また1987年の「障害者雇用促進法」から32年の月日が経つ。国や地方自治体あげての「障害者雇用増し問題」は障害を有する人々を排除し、「障害者雇用促進法」をなきものとした明らかな法律違反であり、人権への侵害でもある。「障害者雇用に関わる検証委員会・報告書」等で事済ます問題ではない。なぜ、障害を有する人々に対し偏見や差別が生じるのか。社会の脆弱性に対する苛立ちや戸惑いを感じつつも「ノーマライゼーションの理念」に希望をたくしつつ2019年度の未知祭は『学び合いを共に』としたテーマを掲げ、基調講演「生活のしづらさを超えて」 合唱会「希望の歌声を共に」 精神保健と精神障害に関する啓発活動「スピーカーズビューロー」 勉強会「障害者福祉法制定の歴史とその背景」 就労作品展示会「三人展」 といった盛りだくさんの企画をもって開催する事に致しました。是非、ご参加賜れば幸いです。

来場者の制限はありません  
(福祉専門職・ご興味のある方、大歓迎)

## 『講演会』

日 時：2019年11月23日(土)  
会 場：山形農業協同組合 本店 2階 大会議室  
山形市旅籠町一丁目12-35

10時30分 開場

### ■基調講演

11時00分 ～ 12時00分  
「生活のしづらさを超えて」失われたものを追求めず  
郡山東都学園 健康科学専門学校講師 阿部正孝氏

12時00分 ～ 13時00分 昼休憩

### ■合唱会・希望の歌声を共に

13時00分 ～ 13時30分  
きむらいずみ&アバウトキャラバン&未知メンバー

### ■スピーカーズビューロー

#### 意見交換会

13時45分 ～ 15時00分

#### 登壇者

仙台スピーカーズビューロー 川村有紀さん  
特定非営利活動法人未知スタッフ 齋藤 靖さん

仙台スピーカーズビューローは、精神保健と精神障害に関する啓発を目的としたグループで、東北福祉大学メンタルヘルスプロモーションセンターを中心に活動を行なっております。統合失調症等の精神疾患を経験した当事者の方々が自らの体験を語るにより、誤った情報やイメージから生じる偏見や差別を解消したい願いを講演活動等の機会を通じて社会に発信し、また当事者同士の交流を深めること等も主眼としております。

あ べ ま さ た か

## 阿部正孝氏 プロフィール



特定非営利活動法人 未知 元メンバー Wさんの作品

所属・役職	東北スクールソーシャルワーク学会 副会長・スーパーバイザー 宮城県スクールソーシャルワーカー運営協議会 委員 社会福祉法人「青空」 評議員 特定非営利活動法人「ベトナム障害者を支援する会」 理事長 特定非営利活動法人「プロジェクトK」 理事長	
資格	精神保健福祉士	
専門	精神保健福祉…障害者への支援の在り方	
略歴	期間	学歴
	1970年	東北福祉大学社会福祉学部 卒業
	2001年	北海道医療大学大学院修士課程 入学
	2003年	北海道医療大学大学院修士課程 修了
		職歴
	1970年	(医) 伊川哲仁会三峰病院 入職 医療技術部長
	2001年	(医) 伊川哲仁会三峰病院 退職
	2004年	梅檀学園東北福祉大学 入職 准教授 2004年～2013年 教授 2013年～2018年
	2018年	梅檀学園東北福祉大学 退職
	2018年～現在	北学園リハビリテーション専門学校 講師
	2019年～現在	郡山東都学園 健康科学専門学校 講師
著書	『スクールソーシャルワークにおける精神保健福祉の有用性についての一考察』 『アメリカにおけるスクールソーシャルワーカーの歴史の一考察』 『子どもの世界の後ろ側』 他	

かわむら ゆ き

## 川村有紀氏 プロフィール

1984年 宮城県仙台市に生れる。

高校2年生のころから精神的な不調を抱えながら学校生活を送る。大学生のときに精神科を受診、統合失調症と診断される。2年近い閉鎖病棟への入院ののち宿泊型自立訓練施設（援護寮）に2年間入所する。退所後はアパートでひとり暮らしをし、2009（平成21）年より仙台スピーカーズビューローの活動を開始、以後たくさんの仲間とその仲間のストーリーに出会う。

いい感じの時：思考や行動がゆっくり。笑顔が自然。

調子が悪い時：頭が忙しくなる、目のやり場に困る。

好きなことはウクレレ、パイプオルガンを弾くこと、ゆっくり料理を作ること。